

国際会議から 2019年世界無線通信会議 (WRC-19)

世界無線通信会議 (WRC) は、国連の付属機関である国際電気通信連合の無線通信部門 (ITU-R) が約4年に1度開催する会議で、さまざまな無線システムが使用する周波数の世界的な調整などが行われます。私たちが海外に行っても同じ携帯電話が使用できるのは、WRCで携帯電話に使用する周波数が各国共通で決められているおかげです。

会議は、世界中から3000人以上の人が参加して4週間にわたり開催され、開会式にはエジプト大統領も出席しました。鉄道に関しては、地上-車上間通信に使用する周波数の調和に関する議論が行われました。会議では、各国がそれぞれの国の事情から意見を主張して大議論となりましたが、3週間以上の粘り強い議論を経て、「周波数調和に向けた議論をITU-Rで継続する」という日本の主張を含んだ公式文書を残すことができました。

開催都市のシャルム・エル・シェイクは、人工的に作られた観光都市であり、最近まで小中学校がなかったそうです。バカンスの旅行者がほとんどの中、スーツ姿でホテルから出かけていく参加者たちはかなり目立っていました。過去にテロの発生があった都市でしたが、会場に入るまでに2度の荷物検査とボディチェックが行われるなど、厳重な警備により安心して参加することができました。

正式名称：World Radiocommunication Conference 2019  
 開催国：エジプト (シャルム・エル・シェイク)  
 期間：2019年10月28日～11月22日  
 主催：国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R)  
 開催頻度：4年に1回  
 次回開催予定：2023年秋 国名：未定  
 ホームページURL：<https://www.itu.int/en/ITU-R/conferences/wrc/2019/Pages/default.aspx>



中村一城  
 信号・情報技術研究部  
 ネットワーク・通信研究室長



ヤシの木を模した携帯電話基地局アンテナ